

1 学校教育目標

○よく考え進んで実行する子 ○なかよく助け合う子 ○心も体もきたえる子

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	<ul style="list-style-type: none"> ・確かな学力の定着を図る学校 ・心の教育、体力の向上に取り組む学校 ・家庭や地域に開かれた学校
○児童・生徒像	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら学び、考え、判断し、問題を解決する児童 ・自他を大切にし、健康づくりに励む児童 ・家庭や地域に感謝の気持ちをもって関わる児童
○教師像	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎、基本の定着を目指す熱意と指導力のある教師 ・児童に寄り添い、認め励ますことのできる教師 ・校長の経営方針の下、組織的に課題に取り組む教師

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

【学校の現状】

○学校…児童一人一人の基礎的・基本的な学習内容の定着を図るとともに、指導力向上中核校（外国語活動・外国語科）としての実践を重ね、また大仙市の取り組みを核に、めあてから振り返りまで児童主体の授業づくりを意識して取り組んでいる。その結果、自分の思いや考えを伝えることができる児童が増えてきた。様々な取り組みの成果もあり、児童の自己肯定感も高まっている。特色ある教育活動として、落語や俳句、百人一首、将棋等の伝統的文化活動にも継続して取り組んでいる。

○児童…明るく素直な児童が多く、落ち着いて学校生活を送っている。自ら考え、主体的に取り組む姿勢をさらに育てていきたい。

○教師…日々の教育活動に熱心に取り組み、互いに高め合い、授業改善を図っている。外国語活動・外国語科の研究を軸に、授業力向上を目指している。

○地域・保護者…PTA、開かれた学校づくり協議会、放課後子ども教室、学習支援ボランティアなど、理解が厚く協力的であり、支えられている。

【成果と課題】

○学力向上…学力向上部会を中心に、全校で基礎学力の定着・向上に取り組んだ。その結果、当初の区学力調査結果の数値が6月の再実施では、国語・算数ともに4月調査の結果より+13.4%になった。さらに2月に実施した本年度（現学年）の区学力調査通過率では、国語 88.4%、算数 91.9%、2教科平均 90.1%となり、区平均に+7.7%となった。今後も引き続き基礎的・基本的な内容の定着が不十分な児童に対して、個に応じた指導を充実させることと、全児童に引き続き読解力をつけていく。また、地域や地域人材を活用させていただき、体験的活動を一層推進していく中で、児童が習得した知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力を高め、主体的・協働的に学ぶ探究的な学習を推進していく。

○健康な心身の育成…あいさつを重視して、あたたかな人間関係を育ててきた。今後も思いやりの心をさらに育てていく。いじめや不登校傾向、児童の生活指導上の問題行動等には、全校で共通理解を図りながら組織的に対応してきた。また、日頃から体力向上を意識し、計画的に取り組んでいく。

○家庭・地域との連携…地域の幼稚園・保育園・中学校と交流を進めてきた。また、地域や地域人材を活用させていただき学習を進めることができた。今後も発信に努め、引き続き地域の中の湊江小学校として活動し、学校愛・地域愛を育てていく。

4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） R：令和				
		R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
1	学力向上アクションプラン	◎	◎	◎	◎	◎
2	健康な心身の育成	◎	◎	○	○	○
3	家庭・地域との連携	○	○	○	○	○

5 令和7年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●	
国語・算数の基礎的・基本的な学習内容の定着		4月には国語・算数共に82%、6月の校内再調査で通過率90%				自己評価の際に記入			
B 目標実現に向けた取組み									
新規・継続	アクションプラン	対象学年 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 継続	授業力の向上	全学年 全教科	通年	・足立スタンダード虎の巻に基づいた授業実践 ・足立区授業力向上中核校の研究授業実践	・管理職による授業観察 ・児童アンケート調査実施 ・学校評価アンケート	・「授業が分かる」80%以上 ・「学力の向上」80%以上	自己評価の際に記入		
2 新規	探究的な学習の充実	生活科・総合的な学習の時間	年2回以上	地域人材を活用し、教科横断的な学習を行い、発表	保護者または他学年児童への発表会の実施	各学年、年2回以上実施			
3 継続	読書活動の充実	全学年	通年	・足立読書通帳を活用し、年間低学年80冊、中学年50冊、高学年30冊以上。 ・全教員による朝学習での読み聞かせの実施	・読書通帳の確認 ・6月と2月の意識調査で意識の向上	・読書冊数目標達成90% ・「本を読むことが好き」80%以上			

4 継続	算数・漢字コンテスト	全学年	夏・冬休み前	漢字・算数ウィークを年2回設定し、パワーアップタイムや家庭学習で取り組む	定着度テストを年2回実施	80%で合格。不合格者は、休業明けに再テスト実施。9割合格	自己評価の際に記入
5 継続	かけ算九九検定	3年以上	4月と9月の年2回	朝のパワーアップタイムや家庭学習で、全学年共通のかけ算プリントに取り組む	・100問テストを実施 ・100点で合格。不合格者は再テスト	100点で合格。90%以上の合格	
6 継続	パワーアップタイム	国語 ・算数	火:計算 水:読書 木:漢字 金:作文	朝の会開始前15分で実施。開始時に音読を行い、曜日ごとに決められた内容に取り組む	・週案簿に学習内容を記載 ・管理職による確認	1年のみ6月から実施 2年以上は4月から各担任が100パーセント実施	
7 継続	けやきタイム	国語 ・算数	月1時間	学年で各担任が国語・算数を20分ずつ担当し、読解力に特化した指導とつまずき解消に向けた指導を実施	区学力調査年度末の目標通過率82%以上	年間11回以上実施	
8 継続	放課後補習教室 (けやき教室)	国語 算数	月2回以上の実施	・担任+専科+COM教員 ・つまずきのある児童の補習を行う。 ・担任による指導後、演習を中心に個別指導。	1回30分×年間30回以上	年間で20回以上の実施	

重点的な取組事項－2		健康な心身の育成		
A 今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
<ul style="list-style-type: none"> 思いやりの気持ちと態度の育成。 年間を通した体力向上へ向けての取組を積極的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 登下校時のあいさつ・校帽着用・靴そろえ95%の児童が実行 管理職による取組状況の把握 	自己評価の際に記入		

B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
気持ちのよい挨拶と規範意識の向上	学校評価アンケート「挨拶と規範意識」の肯定的評価 80%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・登下校時に確認（あいさつ・校帽・靴そろえ） ・児童による校門での挨拶運動を年間を通して実施 			
交流活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・たてわり班活動を年8回以上実施 ・異学年交流を2回以上実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画を基に、たてわり班活動を実施 ・1、2年は生活科、3、4年生は総合的な学習、5、6年生は外国語で異学年との交流を計画する。 			
体育的活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・体力テストの各調査項目において、DE層の割合を30パーセント以下 	<ul style="list-style-type: none"> ・体力向上に向けた運動を体育授業の始め5分に実施する。 ・年間計画を作成し、月ごとに実施状況を確認 			

重点的な取組事項－3 家庭・地域との連携				
A 今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
学校・家庭・地域の中に、「家庭・地域と共に育つ学校」という共通意識をもつ。	学校評価アンケート「連携について」の肯定的評価 80%以上	自己評価の際に記入		
B 目標実現に向けた取組み				
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題
地域や地域人材を活用させていただく授業を実施	生活科・総合的な学習の時間・社会科で各学年2回以上の探究的な学習の実施	地域や地域人材、外部機関との連携学習を実施		

保護者による年間 2 回の学校評価の実施	2 回の学校評価アンケートの平均回収率 70%以上	年 2 回アンケートを実施。変容の分析と課題への迅速な対応・改善			
不登校、不登校傾向のある児童の未然防止	不登校、不登校傾向のある児童の減少	<ul style="list-style-type: none"> ・月 1 回の校内委員会で対応策を考え、全校で共通理解した上で共通行動を徹底する。 ・関係諸機関と連携した児童への支援の徹底 			

6 まとめ

(1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

(2) 保護者や地域へのメッセージ

(3) その他（学校教育活動全般について）

自己評価の際に記入します。
 経営計画の策定段階では、このページは行数を減らして圧縮したり、ページ自体を削除したりした上で、公表していただいても差し支えありません。